

存在感高めるリビルド部品

ジャパンリビルト(田中勝弘社長、大阪府堺市)は、高品質かつ豊富な自動車リビルド部品を供給する。「第一に品質にこだわり、安心して販売していただける商品を扱いながら、幅広い注文に応じられる品ぞろえを整えている」(田中社長)とする。昨近の自動車

ジャパン
リビルト

リサイクル部品市場は、使用済み自動車(ELV)の仕入れ価格高騰や中古車の海外流出などを背景に、商品ラインアップの維持が難しくなっている。こうした中で存在感を高めるのが、優良リビルド部品の存在だ。同社の場合、卓越した技術と各品目に対応する最新型のテスター類などで幅

品質にこだわり 幅広い品ぞろえ



広いニーズに対応する。約20万台を数えるコアの在庫で幅広い顧客ニーズに対応する一方、「独自の加工工程により内製部品の確保している。『低コストで納得できる商品』という自社のポリシーには

循環型社会の形成に貢献

相反することだが、コアのない部品は内製部品を使わずに1点1点組み上げている(同)。自社内製工場を持つ同社の大きな強みだ。「改善」「改革」の精神が高品質な商品を生み出し、常に心がける、「お客さんとともに」(同)という考えのもと、リビルド部品供給を通じて循環型社会の形成に貢献する。

高品質な部品を供給する同社を支えるのは、約400人を数える従業員同士の「チームワーク」。社内における協力関係が生産の原動力となる。また、「社員教育」と「品質管理」へのこだわりは強い。最近では中古部品ネットワークとの連携を強め、各団体による工場見学を活発に受け入れる。フロントや生産部門における増員計画を立て、受け入れ態勢を整える。